

II 年間指導計画

本校のめざす学校像	生徒・保護者・地域から信頼され働き甲斐のある学校に	学校教育目標	1 「学校は勉強をするところ」を基本にしつけ、わかる授業を実践する。 2 生徒の思いと真摯に向き合い、心の交流を深め、教育相談の充実を図る。 3 仲間づくりを深めさせるとともに、成就感・達成感を味わわせる。
育てたい生徒像	豊かな心をもち、たくましく生きぬく生徒	いじめ対応チーム： 校長 教頭 生徒指導担当 各学年主任 養護教諭 ＊状況に応じて関係職員等も含めて編成	

《年間指導計画》

	職員会議等	未然防止に向けた取組	早期発見に向けた取組	未然防止、早期発見に向けて
4月	いじめ対策委員会 ・指導方針の確認 ・年間計画作成	いじめ実態把握調査 ※5	生活実態アンケート ※2 → 道徳・特別活動計画に反映 個人面談・個人状況把握 ※3	1 すべての教職員が、いじめ問題の重要性を認識する。 2 いじめ対策委員会を中心に、定期的に未然防止に向けた取組を行なう。 3 各個人の様子を学年会議等で情報交換を行い、具体的な指導の留意点について職員会議や、職員研修会で取り上げて共通理解を図る。 4 各担任や部活動顧問が、いじめの問題を一人で抱え込むことなく、報告・連絡・相談を確実に行い、学校全体で組織的に対応する。
5月	事案発生時、緊急対応会議の適時開催(通年)	保護者向け啓発 (ネットいじめを含む) PTA総会、保護者会 ※6	カウンセリングマインド研修 ※4	危機管理の3原則 迅速性
6月		人間関係づくり 学級・学年づくり	(体育祭)	
7月		情報教育講演会 ※7	訪問 生活実態アンケート 三者面談 個人面談・個人状況把握	※1 職員会議 いじめ防止基本方針を確認し、指導方針や指導計画を提示し、全教職員で共通理解を図る。
8月		全校一斉学習 (校内球技大会) ※8		※2 生活実態(いじめ)アンケート 年度当初、1学期末、各学期始めに、いじめの実態把握のアンケートを実施する。
9月	いじめ対策委員会 ・情報共有 ・2学期計画作成	カウンセリングマインド研修 ※9	生活実態アンケート 個人面談・個人状況把握	※3 個人面談／個人状況把握 年度当初、各考査後等の区切りごとに個人面談を実施し、生活状況把握するとともに、クラス内の生徒状況を把握し、いじめが起こっていないかどうかを確認する。
10月		人間関係づくり 学級・学年づくり	(自然学校)	※4 カウンセリングマインド研修 ロールプレイ等、研修の実施の仕方を工夫するなど効果的な研修を実施する。
11月	保護者向け研修会 ※6		(修学旅行)	※5 いじめ実態把握調査 生徒、保護者を対象としたいじめ問題への意識調査を実施し、その調査状況を元に特別支援の計画等を作成する。
12月		人権教育研修 ※9	(文化祭) ※10 (トライやるウィーク)	※6 保護者向け啓発／研修 ホームページや保護者会等を活用して、学校のいじめ防止基本方針を周知するとともに、保護者からいじめを含む様々な情報を収集する。
1月	いじめ対策委員会 ・情報共有 ・3学期計画作成		三者面談・個人状況把握 生活実態アンケート 個人面談・個人状況把握	※7 情報教育講演会 昨今のソーシャルネットワーキングサービス(SNS)等の情報ネットワークにまつわるトラブル等について生徒向けに講演を実施し、情報セキュリティについての注意を喚起する。
2月				※8 全校一斉学習 情報教育講演会の感想を書くとともに、ネットいじめ等を含み、正しい情報機器の使い方を話し合う。
3月	いじめ対策委員会 ・本年度まとめ、課題検討 ・次年度の指導方針改善 ・次年度の指導計画修正 ↓ いじめ実態アンケート送付	情報モラル研修 ※9	人権教育研修／情報モラル研修 人権の問題として、いじめ、ネットいじめ、情報モラル等についての研修会を実施する。	
		次年度に向けクラスづくり (校内球技大会)	※10 学級・学年づくり／人間関係づくり 1学期、2学期を通して、クラスや学年の人間関係づくりについて学級活動等で学習するとともに、様々な体験活動を実施する。	
			※11 家庭訪問	